

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

安心・安全な活力ある港・漁港づくり

2. 地域再生計画の作成主体の名称

上天草市

3. 地域再生計画の区域

上天草市の区域の一部（上天草港江樋戸港区及び鷺浦漁港）

4. 地域再生計画の目標

上天草市は、熊本県の西部、有明海と八代海が接する天草地域の玄関口に位置し、天草地域に浮かぶ大矢野島、上島、その他の島々から構成されており、温暖な気候を生かし果樹や花き栽培又、大部分は急峻な山ひだが海岸線まで迫り、全体的に平坦地が少ない地勢でその中でも大矢野島は比較的、傾斜が緩やかな丘陵地が多く酪農や美しい海を生かした漁業が盛んに行われており、新鮮で多様な農水産物に恵まれた地域である。しかしながら、地理的に熊本都市圏から遠いという立地条件や、高速交通の基盤整備の遅れもあって、漁業、農業をはじめ、地域経済は停滞気味であり、雇用の場も少ないことから、過疎化が進行し、県内でも特に高齢化が進んでいる地域でもある。

本事業を計画している上天草港江樋戸港区及び鷺浦漁港は、上天草市大矢野町西南端の有明海に面した場所と東部の八代海に面した場所に位置し、その背後地には、地元上天草市が、地域経済の活性化策として整備した「天草四郎メモリアルホール」、「上天草物産館さんぱーる」、「交流センター スパ・タラソ天草」等があり、特に、「上天草物産館さんぱーる」においては、地元の水産物を用いた海鮮料理を中心に食材を生かしたレストランや生産者による農林水産物を始め加工品や特産品などの物産館直売コーナーによる販売をしている。

本事業を計画している上天草港江樋戸港区の現状は、本市の離島である湯島からの生活圏物流のための海上交通及び地域経済の基点となっている「上天草物産館さんぱーる」へ水産物を出荷するため海上運搬の拠点港として役割を果たしている。次に、当港の施設について、既設物揚場の基礎地盤沈下及び老朽化がかなり進行し、旅客船、他の船舶の荷役作業や離着岸に支障を来しており、又、潮位の干満差に関係なく安全に係留できる施設が十分に整備されておらず、係船できる船隻数が限られており、利用者の利便性及び安全性が確保されていない状況である。

一方、鷺浦漁港については、漁獲量が214トン、利用漁業者数が69人の地域密

着型の漁港であり、小型船を中心に、現在69隻が在籍し、地域の漁業活動の拠点となっている。当漁港からは、大矢野地区における水産物の加工・販売所として、水産経済・漁業経済の基点となっている「上天草物産館さんばーる」へ多くの水産物を出荷している。しかし、本港は現在、航路内の土砂の堆積による入出港待機時間が発生しており、また、物揚場が狭小のため同時に係船できる船隻数が限られていることにより、休憩船と陸揚船が引きめきあい、陸揚時間が長くかかり、漁港全体の漁業活動からみて非効率となっている。このことは、「上天草物産館さんばーる」へ出荷し、本物産館を地域経済活性化の拠点と考えるうえで大きな妨げである。

これらを踏まえ、本事業を計画している上天草港江樋戸港区及び鷺浦漁港の二港を連携して整備することで、基幹産業である農林水産業の振興や1次産業と関連付けた観光業等の振興を図るとともに、市民生活や産業活動を支える都市基盤整備を進めることとしている「上天草市総合計画」が推進され、基幹産業等を支える本事業区域において、安心・安全な活力ある地域づくりが図られる。

(目標1) 上天草港江樋戸港区の利用促進

(係留船を増加させる 52隻 → 60隻)

(定期船利用者の利便性を向上させ利用者数の増加を図る 26,200人→27,000人)

(労働時間を短縮させる 90分/隻 → 80分/隻)

(目標2) 鷺浦漁港の労働環境改善

(陸揚時間を短縮させる 60分/隻 → 30分/隻)

(入出港待機時間を短縮させる 2時間 → 0時間)

(目標3) 上天草物産館さんばーるにおける地元物産品の販売促進

(レジ通過人数を増加させる 586,033人 → 617,242人)

5. 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

上天草港江樋戸港区では、現在、物揚場岸壁より直接旅客船へ乗降している利用者の安全性と利便性の確保とその他の船舶での荷役作業の効率化を図るため、物揚場の整備を行い、漁業従事者や観光客の安全確保を図る。

鷺浦漁港では、漁業活動に深刻な影響を与えている陸揚時間や入出港待機時間の短縮、更に港内での漁船の接触事故防止も図るため、泊地の浚渫と物揚場等の整備を行い、効率的で安全な漁業活動へ繋げる。

5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

○港整備交付金を活用する事業

[施設の種類の事業主体]

- ・港湾施設（上天草港江樋戸港区） 上天草市
- ・漁港施設（鷺浦漁港） 上天草市

[整備量]

- ・港湾施設・・・係留施設
- ・漁港施設・・・外郭施設、水域施設、係留施設

[事業期間]

- ・港湾施設 平成24年度～平成28年度
- ・漁港施設 平成25年度～平成28年度

[事業費]

- ・総事業費
 - 港湾施設 520,000 千円（うち交付金 208,000 千円）
 - 漁港施設 180,000 千円（うち交付金 90,000 千円）

5-3 その他の事業

[関連事業（漁港）]

上天草市では、水産資源の増大、海洋環境・生態系の保全に資するための回復を水産業振興・地域振興の基本と位置づけ水産資源の生息環境となる漁場等の積極的な保全・創造を推進するため、江樋戸港及び鷺浦漁港等に関連する漁場において、つき磯事業及び稚魚放流事業等を実施している。

[関連事業（観光）]

江樋戸港の背後地には、「上天草物産館さんばーる」があり、鮮魚や海鮮料理の他、農産物等を販売している。また、本市は健康マラソン発祥の地でもあり、さんばーる敷地内の広場において、毎年3月の第2日曜日に4,300人以上のマラソンランナーが参加する「天草パールラインマラソン大会」を盛大に行っている。

6. 計画期間

平成24年度～28年度（5ヶ年）

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す地域再生計画の数値目標について、上天草市公共事業再評価審議会を活用して、達成状況等の評価や検討を行う。